

領域	専門分野 I	授業科目	基礎看護学方法論 I	単位 (授業時間/時間数)	2 (44/45)
開講年次	1年次	開講時期	前期	後期	通年
担当講師名	専任教員		講師所属	福岡水巻看護助産学校	

授業のねらい

看護過程は問題解決の思考であり、アセスメントから評価までの5段階のなかで、看護の対象者の状況(情報)について知識を活用し関連させながら、「思考し分析する力」「判断する力」、さらに思考し分析・判断したプロセスを「口頭での説明や記述によって表現する力」を養うことをねらいとする。

授業目標

1. 看護過程を構成する要素とそのプロセスを理解する。
2. 看護過程を用いることの意義を理解する。
3. 実際の事例をもとに、問題解決過程やクリティカルシンキング、リフレクション、倫理的判断といった看護過程の基盤となる考え方について学ぶ。
4. アセスメント、看護問題の明確化、看護計画、実施、評価といった看護過程の各段階について、その基本的な考え方と実際を学ぶ。
5. 看護記録の目的と留意点、その構成について学ぶ。

授業概要

1	看護過程とは	12	問題の明確化 看護診断 共同問題
2	看護過程の基盤となる考え方	13	問題の明確化 看護診断 共同問題
3	アセスメント 情報収集	14	計画
4	アセスメント 情報の整理	15	計画
5	アセスメント 情報の解釈	16	計画
6	アセスメント 演習	17	計画
7	問題の明確化 関連図	18	実施
8	問題の明確化 関連図	19	評価
9	問題の明確化 関連図	20	看護記録
10	問題の明確化 PES方式 関連因子の特定	21	アセスメントガイド作成
11	問題の明確化 PES方式 関連因子の特定	22	まとめ

※ 授業概要は、進度によって変更することがあります。

授業の進め方

講義、グループワークを織り交ぜながら進める。

教科書

系統看護学講座 専門分野 I 基礎看護学〔2〕 基礎看護技術 I (医学書院)
 ゴードン博士の看護診断アセスメント指針 (照林社)
 看護診断ハンドブック第11版 著:リンダ J. カルペニート=モイエ (医学書院)

参考図書

評価方法

終講時 事例展開の内容も含む客観式テスト (100点)
 試験時間は時間数に含む。